



2026年2月26日

各位

会社名 INCLUSIVE Holdings 株式会社  
代表者名 代表取締役社長 木村 美樹  
(コード番号：7078 グロース市場)  
問合せ先 取締役 管理本部長 正田 聡  
(TEL 03-6427-2020)

### 連結子会社間の吸収合併に関するお知らせ

本日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社オレンジ・アンド・パートナーズ（以下「OP」という。）及び OP の完全子会社かつ当社連結子会社である株式会社ジョージクリエイティブカンパニー（以下「GCC」という。）は、2026年6月1日を効力発生日として、OP を存続会社、GCC を消滅会社とする吸収合併（以下「本合併」という。）を行うことを決議いたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 本合併の理由

本合併により、経営・人的資源の集約と経費管理費用の圧縮、意思決定の迅速化を図り、OP による施設空間プロデュース事業を強化することで、グループ全体における企業価値を向上させるためであります。

#### 2. 本合併の要旨

##### ① 本合併の日程

当社取締役会決議日	2026年2月26日
合併契約取締役会決議日（各当事会社）	2026年2月26日（予定）
合併契約締結日（各当事会社）	2026年2月27日（予定）
合併契約承認株主総会（各当事会社）	2026年3月26日（予定）
合併期日（効力発生日）	2026年6月1日（予定）

##### ② 本合併の方式

OP を存続会社、GCC を消滅会社とする吸収合併方式で、GCC は効力発生日をもって解散いたします。

##### ③ 本合併に係る割当ての内容

本合併は、当社の子会社の完全子会社との吸収合併であるため、株式その他の金銭等の割り当てはありません。

- ④ 本合併に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い  
該当事項はありません。

### 3. 本合併当事会社の概要

	存続会社	消滅会社
(1)商号	株式会社オレンジ・アンド・パートナーズ	株式会社ジョージクリエイティブカンパニー
(2)本店所在地	東京都港区麻布台 1-11-10	東京都港区麻布台 1-11-10
(3)代表者の役職・氏名	代表取締役社長 小山薫堂	代表取締役社長 萩尾友樹
(4)事業内容	ブランドプロデュース、ブランドデザイン	デザインコンサルティング
(5)資本金	10,000 千円	3,000 千円
(6)設立年月日	2017 年 9 月	2007 年 2 月
(7)発行済株式数（注）	5,031 株	60 株
(8)決算期	5 月 31 日	5 月 31 日
(9)大株主及び持ち分比率	INCLUSIVE Holdings 株式会社 68.8%	株式会社オレンジ・アンド・パートナーズ 100%
(10) 直前事業年度の財政状態及び経営成績		
	2025 年 5 月期	2025 年 5 月期
純資産	131,767 千円	71,395 千円
1 株当たり純資産（注）	26,191 円 03 銭	1,189,931 円 28 銭
総資産	300,760 千円	148,749 千円
売上高	1,318,495 千円	423,591 千円
営業利益又は損失(▲)	67,152 千円	▲672 千円
経常利益	67,298 千円	54 千円
当期純利益又は損失(▲)	49,041 千円	▲6,268 千円
1 株当たり当期純利益又は 損失(▲)（注）	9,747 円 88 銭	▲104,469 円 21 銭

(注) 2025 年 7 月 25 日付「連結子会社間の吸収合併に関するお知らせ」のとおり、当社の子会社である株式会社オレンジ（以下「OH」という。）を消滅会社とし、OH の完全子会社である OP を存続会社とする合併を行ったため、OP の発行済株式数は 2025 年 10 月 1 日付で 5,031 株となります。なお、合併前の発行済株式数（200 株）に基づき算出した 2025 年 5 月期末時点の 1 株当たり純資産及び当期純利益は以下のとおりです。

(参考) 1 株当たり純資産 658,835 円 53 銭 1 株当たり当期純利益 245,208 円 4 銭

#### 4. 本合併後の状況

(1)商号	株式会社オレンジ・アンド・パートナーズ
(2)本店所在地	東京都港区麻布台 1-11-10
(3)代表者の役職・氏名	代表取締役社長 小山薫堂
(4)事業内容	ブランドプロデュース、ブランドデザイン、ブランドコンサルティング
(5)資本金	10,000 千円
(6)決算期	5月31日
(7)大株主及び持ち分比率	INCLUSIVE Holdings 株式会社 68.8%

#### 5. 今後の見通し

本合併は、当社の子会社間の合併であるため、当社の連結業績への影響は軽微であります。

以 上